

(特非) 能登半島おらっちゃんの里山里海

世界農業遺産「能登の里山里海」伝承と協働のプラットフォーム創出事業

イベントの 延べ参加者数	1,224 人
助成活動がメディア に掲載された回数	25 回
活動の全体目標 に対する達成度	85%



おらっちゃんの森づくり運動 2015 活動後

◆成果と工夫したポイント

●成果

- ・地元企業（1 社）や金沢大学との協働活動が定例化され、価値の共有や持続的な利用体制の基盤ができた。
- ・ワークショップを自主開催する若い参加者が出てきた。
- ・活動への賛同者が増え、NPO 正会員が 10 名増えた。

●工夫

- ・地元住民がワークショップ講師となり、伝える技術の向上を促進した。
- ・大学や建設業者との協働活動の実施。

課 題

人と自然のつながりが生み出した、世界農業遺産「能登の里山里海」の伝統文化や生物多様性を、持続可能な形で次世代へと継承する責任がある。

目 標

- ・伝統文化や生物多様性を守り伝える活動の実践と担い手育成。
- ・多様な主体の連携による能登の里山里海の持続的利用保全の体制作り。

活動内容

- ・能登の伝統文化（主に生活文化）を継承するためのワークショップを毎年約 5 回、計 16 回開催した。
- ・里山里海の保全活動や交流体験活動を毎年約 15 回、計 46 回実施した。
- ・生物多様性に関するモニタリング調査を実施した。
- ・活動を広く知ってもらうための広報紙を毎年 1,000 部作成して配布した。



おらっちゃんの森づくり運動
2015 活動前

達成できなかったこと

生物多様性調査の広域展開が進まなかった。調査を企画・運営できる人材を育成できなかった。

今後の展望

活動を続けることで、地域資源の掘り起こし、伝統文化や生物多様性を守り伝える仕組みを作り上げる。